

平成 30 年度岩手県立一関第一高等学校【附属中学校】経営計画

校長名： 遠 藤 可 奈 子

1 現 状 把 握 及 び 将 来 展 望	(1) 学校に対するニーズ	対 象		
		生 徒・保護者		地域・同窓会等
		<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を引き出すわかりやすい学習指導による確かな学力の育成 ・発達段階に応じたきめ細かい指導と丁寧な情報提供 ・充実した学校生活と望ましい人間関係の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の牽引力となる学力向上 ・よき伝統・校風の継承・発展 ・地域のリーダーとなる人材育成 	
	(2) 学校に影響を与える変化	1 社会の急速な変化(情報化・グローバル化等)、地域の人口減少と地域課題の深刻化 2 本県唯一の併設型中高一貫校としての使命		
	(3) パートナーとの関係	パートナー		
		PTA	教育委員会	地域／同窓会等
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭の緊密な連携 ・教育活動への支援・協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営、教育環境整備への支援 ・授業力向上への指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動への支援・協力 ・地域を担う人材育成への協力
2 目 指 す 学 校 像 【附中アイデンティティ】	校訓・校是 高志 温故知新 切磋琢磨 不屈不撓 修文練武 遂げずばやまじ 1 高い志をもって学ぶとともに、明るく充実した学校生活の中で生きる力を育む学校 2 確かな学力と教養を身につけ、仲間とともに夢を育てて進路希望を実現する学校 3 人間性豊かな優れた人材を育てて、社会の未来に貢献する学校			
3 育 て た い 生 徒 像	1 人や社会に貢献しようとする意欲と能力、真摯に学び続ける姿勢をもつ生徒 2 豊かな人間性を有し、他者への思いやりと自己肯定感をもつ生徒 3 健全な心身と高い志をもち、進取の気性と不屈の意志で未来を切り拓く生徒			
4 今 後 の 取 組 方 針 【H30 重点目標】 ※1 主管分掌を中心に全職員で組織的に取り組む。	1 「附中アイデンティティ」の再確認と、未来を拓く研究及び実践 全・総・教・研・進・情 ※1 / 24・28 ※2 (1) 開校 10 年目を機に附属中学校としての使命と在り方を再確認し、魅力と特色ある教育活動を展開する。 【実践発表会、「高志プログラム」「探究」、各教科の学習等】 (2) 併設型中高一貫校としてのメリットを最大限に活かす方策を研究・実践する。 【情報収集、他校視察、校内体制・教育課程等の工夫・改善】 (3) 本校の魅力と特色ある教育活動を広く発信する。 【ホームページ・情報配信メール、各種通信等の充実】 2 学習指導の充実と学力向上 全・教・研・進 / 24 (1) 授業力を向上させ、考える・わかる・力がつく授業で確かな学力を育む。 【互見授業、教員研修】 【主体的・対話的で深い学びを導く参加型授業、中高連携】 (2) 基礎・基本を定着させ、学びに向かう意欲と確かな学力を育む。 【わかる授業、授業と連動した家庭学習】 【ティーム・ティーチング、少人数学習指導等の徹底】 (3) 中高一貫校として、高校での到達段階を踏まえた深い学びを実現させる。 【のばす授業、成績データ分析、データに基づく指導の改善】 3 品格と活力ある附中生を育てる生徒指導 全・生・副 / 25・26 (1) 望ましい生活習慣、規範意識、思いやり、マナーのある附中生を育てる。 【整容、挨拶、欠席予防、規範意識(いじめ防止)、情報モラル指導、交通安全指導】 (2) 活力ある部活動と文武両道を実現させる。【安全・効果的な活動、集中と時間管理】 (3) 諸活動への主体的な取り組みを促し、自他の生命と人権を大切にすると社会貢献の姿勢を育てる。 【生徒会(委員会)活動、ボランティア活動、復興教育】			
※2 いわて県民計画第3期アクションプランとの関連	24 : 児童生徒の学力向上 (含: キャリア教育) 25 : 豊かな心を育む教育 26 : 健やかな体を育む教育 27 : 特別支援教育の充実 28 : 家庭・地域との協働による学校経営の推進 (含: 目標達成型経営、防災・復興教育)			

4 今後の取組方針

【H30 重点目標】

(続き)

※1

主管分掌を中心に全職員で組織的に取り組む。

全: 全体

総: 総務課総務係

情: 総務課情報係

教: 教務課教務係

研: 教務課研究係

進: 教務課進路指導係

生: 生徒指導課生徒指導係

保: 生徒指導課保健安全係

部: 部活動

※2

いわて県民計画第3期アクションプランとの関連

24: 児童生徒の学力向上

(含: キャリア教育)

25: 豊かな心を育む教育

26: 健やかな体を育む教育

27: 特別支援教育の充実

28: 家庭・地域との協働による学校経営の推進

(含: 目標達成型経営、防災・復興教育)

4 キャリア教育の充実と進路希望の実現 **全・教・進・生** / **24**

(1) 高いレベルの進路実現を目指す中高一貫教育の基盤を作る3年間として、発達段階に応じた系統的なキャリア教育により進路意識(勤労観・職業観・社会貢献意識等)を高揚する。

【「高志プログラム」、体験活動、地域・関係団体等との連携】

(2) 中高一貫校として望ましい進路実現を可能にする進路指導體制を充実させる。

【教員研修、創意工夫と学校一体の指導體制、生徒・保護者への情報提供】

5 健康な心身の育成、一人ひとりに寄り添うサポート体制、環境意識の向上 **全・保** / **25 26 27**

(1) 心身ともに健康な生徒を育てる。

【望ましい生活習慣、健康管理、食育】

(2) 生命と人権を尊重し、思いやりと自己肯定感をもつ生徒を育成する。

(3) 悩みや不安をもつ生徒を早期に発見し、組織的に支援する。

【検査・アンケート実施と活用、学級学年・分掌・部顧問等と保護者との連携、心のケア】

(4) 日常の活動を通じて環境意識を醸成する。

【清掃、エコ活動】

6 図書館機能、読書指導、ICTを活用した学習等の充実 **全・教・情** / **24・25**

(1) 学校図書館、視聴覚教材、ICT等を活用した主体的な学習活動を促す。

(2) 読書指導を強化し、図書や新聞を通じて豊かな人間性と生きる力を育成する。

【学年・教科等の連携】

7 家庭や地域との連携、防災教育 **全・総** / **28**

(1) 保護者との連携、PTA活動の充実により、教育活動の向上を図る。

(2) 地域及び関係団体との連携・協力を推進する。

【PTA・同窓会・地域との連携】

(3) 生涯にわたる安全・防災意識の基礎を築く教育を行う。【実践的な防災教育】

8 教職員集団のチーム力向上、信頼される学校づくり **全・総** / **28**

(1) 地域や関係団体と連携し、信頼され、社会に開かれた学校づくりを目指す。

【適時適切な情報発信・広報活動、学校評価・学校評議員会の活用】

(2) 教職員間のコミュニケーションとチームワークを重視し、コンプライアンス意識を高める。

【情報と意識の共有、風通しのよい職場づくり】

(3) 全教職員が目標を共有し、チーム力とチャレンジ精神をもって組織的・計画的に取り組む。【業務改善(優先順位の共有)、働き方改革、チャレンジできる体制づくり】

平成30年度 数値による評価指標 (附属中学校)

■学習指導、進路指導等に関するもの

(1) 全国学調 全国平均比 3年:国語B+20 ポイント、数学B+35 ポイント

(2) 県学調 県平均比 2年:国語+20 ポイント、数英+35 ポイント、社理+30 ポイント

(3) 互見授業実施・参観率:100%

(4) 欠席率・遅刻率:1%以下

(5) 進研学力推移調査 総合偏差値 1~3年において年間+2ポイント、最終偏差値 60

■生徒指導、保健安全、教育相談等に関するもの

(6) 生活アンケート 「附中三氣」を意識して生活できている:90%以上

(7) Q-U学級満足群:70%以上

(8) 学校評価 相談に関する項目 肯定的評価:80%以上

(9) 「朝食を毎日食べる»:100%

■家庭や地域との連携に関するもの

(10) 学校評価アンケート 「PTAの組織は機能的で、活動も計画的に行われている」肯定的評価:80%以上